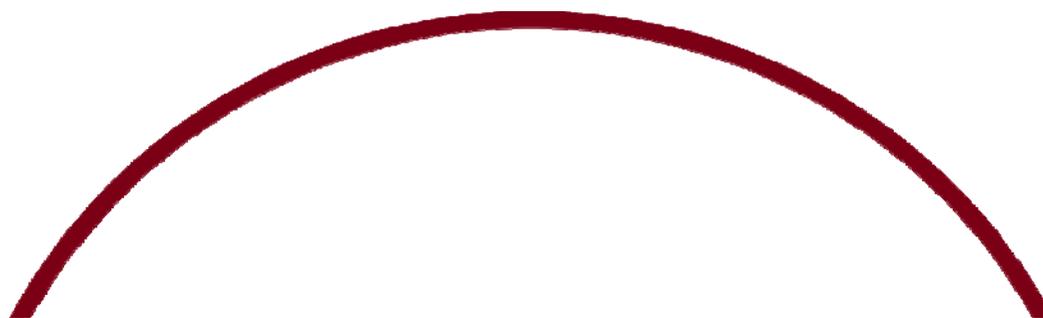


資料5-1

45の「起きてはならない最悪の事態」 の改訂について(たたき案)



懇談会での指摘事項

- 基本計画の見直しにあたっては、45の起きてはならない事態について改めて考え方を整理し、プログラムの組換えを行う必要がある。(第32回)
- 避難所の問題や、みなし仮設住宅・被災住宅の応急修理制度の有効活用など、45の最悪の事態にうまくはまらない課題を国土強靱化施策の中に位置づけることが重要。(第30回)

改訂作業を進める必要性

「45の起きてはならない最悪の事態」は脆弱性評価及び施策検討の出発点



- ① 8つの目標の加筆等に合わせた改訂
- ② 8つの目標の概念整理に合わせた改訂
- ③ 地域計画からのフィードバック
- ④ 脆弱性を考える上で一体・一連のものとして扱うのが望ましい事態の統合

対応の方向性(案)

- 45の枠組みは維持しつつ、上記の方向性で必要な改訂を加える。

① 8つの目標の加筆等に合わせた改訂

改訂目標2 大規模自然災害発生直後から救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに**被災者等の健康・避難生活環境が確実に確保される。**

【現行の関連シナリオ】

- (2-1)被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止
- (2-6)医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶による医療機能の麻痺

➤ 被災者の避難生活環境の質の確保、健康管理に焦点を当てた最悪の事態を明確に示したほうがよい。

➤ **【新設】(2-X)劣悪な避難生活環境、被災者の健康管理の不全による、多数の死者・病症者の発生**

改訂目標4 大規模自然災害が発生したときでも必要不可欠な情報通信機能・**情報サービス**は確保する。

【現行の関連シナリオ】

- (1-6) 情報伝達の不備等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生

➤ 情報伝達のみならず情報の収集の遅れも致命的であること、情報の収集や伝達にはSNSやプローブ情報等の収集・提供等の情報サービスも含まれることを明確に示したほうがよい。

➤ **【新設】(4-X) 災害時に活用する情報サービスが機能停止し、情報の収集・伝達ができず、避難行動や救助・支援が遅れる事態**

改訂目標8 大規模自然災害発生後であっても、社会・経済が迅速かつ**従前より強靱な姿で復興**できる条件を整備する。

【現行の関連シナリオ】

- (8-3)地域コミュニティの崩壊、治安の悪化等により復旧・復興が大幅に遅れる事態

➤ 被災地における早期の生活基盤の確保・経済活動の再開、従前より強靱な姿で復興できることに焦点を当てた最悪の事態を明確に示したほうがよい。

➤ **【新設】(8-X) 貴重な文化財や自然環境の喪失、地域コミュニティの崩壊、より良い復興に向けたビジョンの欠如等により、地域住民が戻らない事態**

【新設】(8-Y) 事業用地の取得、仮設住宅・仮店舗・仮事業所等の整備が進まず、復旧・復興が大幅に遅れる事態

② 8つの目標の概念整理に合わせた改訂

8つの目標の概念整理に合わせ目標間の移動、表現の改訂等を行うもの

現在の45の最悪の事態		改訂案	
6-5) 異常渇水等により用水の供給の途絶	→	5-X) 異常渇水等による用水供給途絶に伴う、生産活動への甚大な影響	
7-7) 風評被害等による国家経済等への甚大な影響	→	8-Z) 国際的な風評被害や信用不安、生産力の回復遅れ、大量の失業・倒産等による国家経済への甚大な影響	
1-5) 大規模な火山噴火・土砂災害(深層崩壊)等による多数の死傷者の発生のみならず、後年度にわたり国土の脆弱性が高まる事態	→	1-5) 大規模な火山噴火・土砂災害(深層崩壊)等による多数の死傷者の発生	後段
	→	7-6) 農地・森林等の荒廃・堆積した火山灰や崩落土砂による被害の拡大	
7-3) 沿線・沿道の建物倒壊による直接的な被害及び交通麻痺	→	7-3) 沿線・沿道の建物倒壊による交通麻痺	直接被害
	→	1-1) 大都市での建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や住宅密集地における火災による死傷者の発生	
7-4) ため池、ダム、防災施設、天然ダム等の損壊・機能不全による二次災害の発生	→	7-4) ため池、ダム、防災施設、天然ダム等の損壊・機能不全による二次災害の発生	被害最小化・復旧関係
	→	6-X) 防災インフラの長期にわたる機能不全	
1-4) 異常気象等による広域かつ長期的な市街地等の浸水	→	1-4) 突発的又は広域かつ長期的な市街地等の浸水による多数の死傷者の発生	
2-1) 被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止	→	2-1) 被災地での食料・飲料水・電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の長期停止	
5-2) 社会経済活動、サプライチェーンの維持に必要なエネルギー供給の停止	→	5-2) エネルギー供給の停止による、社会経済活動・サプライチェーンの維持への甚大な影響	
5-5) 太平洋ベルト地帯の幹線が分断する等、基幹的陸上海上交通ネットワークの機能停止	→	5-5) 太平洋ベルト地帯の幹線が分断する等、基幹的陸上海上交通ネットワークの機能停止による国内物流・人流への甚大な影響	
8-2) 道路啓開等の復旧・復興を担う人材等(専門家、コーディネーター、労働者、地域に精通した技術者等)の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態	→	8-2) 復興を支える人材等(専門家、コーディネーター、労働者、地域に精通した技術者等)の不足により、復興が大幅に遅れる事態	

③ 地域計画からのフィードバック

【地方独自シナリオ】

暴風雪や豪雪による重大事故や交通途絶に伴う死傷者の発生

○暴風雪や豪雪は、雪寒地域において大きな人的被害につながりうる。

↳【新設】(1-X) 暴風雪及び豪雪等に伴う多数の死傷者の発生

【地方独自シナリオ】

文化財等の被災による、観光客等の死傷者の発生

後世に残すべき貴重な文化遺産の被災

企業・住民の流出等による地域活力の低下

○文化財の被災、それに伴うシンボルの喪失・住民等の流出は、復興を妨げる重大な事態となりうる。

↳【現行】(8-3)地域コミュニティの崩壊、治安の悪化等により復旧・復興が大幅に遅れる事態
 【新設】(8-X) 貴重な文化財や自然環境の喪失、地域コミュニティの崩壊、より良い復興
 (再掲) に向けたビジョンの欠如等により、住民が戻らない事態

④ 脆弱性評価を行う上で一体・一連のものとして考えるのが望ましい事態の統合

一体性や一連性のある事態についての統合

【現行の関連シナリオ】

- (2-4)救助・救急、医療活動のためのエネルギー供給の長期途絶
- (2-6)医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶による医療機能の麻痺

○医療関連の事態で一体的に考えるべきもの

↳【統合】(2-6)医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶、エネルギー供給の長期途絶による医療機能の麻痺

【現行の関連シナリオ】

- (3-1)矯正施設からの被収容者の逃亡、被災による現地の警察機能の大幅な低下による治安の悪化
- (3-2)信号機の全面停止等による重大交通事故の多発

○警察関連の事態で一体的に考えるべきもの

↳【統合】(3-1)被災による司法機能、警察機能の大幅な低下による治安の悪化、社会の混乱

【現行の関連シナリオ】

- (5-7)金融サービス等の機能停止により商取引に甚大な影響が発生する事態
- (4-2)郵便事業の長期停止による種々の重要な郵便物が送達できない事態

○郵便の機能は、電子メール等では行えない、内容証明、債権者集会の通知等が想定され、それらは商取引との関連性が強い。

↳【統合】(5-7)金融サービス・郵便等の機能停止による国民生活・商取引等への甚大な影響

【現行の関連シナリオ】

- (6-4)地域交通ネットワークが分断する事態
- (8-4)新幹線等の基幹インフラの損壊により復旧・復興が大幅に遅れる事態

○交通関係の事態として一体的と考えられるべきもの

↳【統合】(6-4)新幹線等基幹的交通から地域交通網まで、陸海空の交通インフラの長期間にわたる機能停止